

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

広島県

行事名称	日吉神社消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年 2月2日（日）9：00～10：00
実施場所	日吉神社本殿及びその周辺（府中市本山町761番地）
主催者	日吉神社、福山地区消防組合府中消防署、府中市消防団、府中市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

日吉神社弊殿から出火した火災が、神社関係者及び付近住民による初期消火活動にもかかわらず延焼拡大、北側の府中市指定重要有形文化財「日吉神社本殿」に延焼の危険性が極めて高くなり、更に折からの風に煽られ山林火災が発生したという想定のもとで訓練を実施する。

訓練の内容

日吉神社関係者による火災発見、通報、初期消火（バケツリレー・消火器）訓練を行い、消防隊到着後は状況説明後に避難を実施。消防署による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

神社関係者及び付近住民（50名）：119番通報、初期消火、避難訓練、閉会式挨拶

福山地区消防組合府中消防署および消防団（67名）：

全体統括、訓練状況放送、放水訓練、参拝者避難誘導、講評

府中市教育委員会（2名）：現場立会い、マスコミ対応、閉会式挨拶

特に工夫した点

事前に実施された防火設備点検時に神社関係者・消防署・市教育委員会の三者において訓練の確認打ち合わせ作業を行った。

問題点・課題

訓練実施日程調整において、早期からの調整を行っていなかったため、神社・地元消防団関係者の行事と重複し、日程調整に困窮した。消防設備点検時において次期開催対象関係者との調整により円滑な日程調整を行うことが必要。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて防火訓練を行うことで、文化財所有者及びその関係者や地元住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防火・防災の重要性と初期消火の対応方法を改めて確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



初期消火訓練



延焼想定放水訓練